

施策評価シート【重点施策】

個別施策 - (2)

安心して子育てができる環境をつくる

基本的な方向性

安心して子育てができるようにするため、保護者の仕事と育児の両立を支援するとともに、経済的・精神的な負担の軽減を図ります。また、高まる保育ニーズに対応するため、施設整備と保育士確保の両面から保育環境の充実にに向けた取組を進めます。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
保育園等の待機児童数	人	22	0	0	6	4	0
放課後児童クラブの待機児童数	人	0	0	0	0	0	0

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・ 保育所等の整備に対する助成を行うとともに、保育士確保に向けて、保育士確保特設サイトで市内民間保育所や本市独自の保育士支援策を紹介したほか、3市町合同での就職応援フェアを開催しました。加えて、一時預かりや病児・病後児保育など特別保育の実施、放課後児童クラブの増設を進め、受入児童数を拡充しました。
- ・ 医療費助成（所得制限なし）の対象年齢を18歳まで拡大するとともに、ブックスタート、不育治療費の助成、産後ケア事業や各種健診などを実施することで、妊娠、出産から子育て期までの切れ目のない支援体制を整えました。
- ・ 平塚・中郡地域で唯一、二次救急を扱える病院として、小児科の救急患者を受け入れました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・ 保育需要を見極めながら、待機児童の解消や保育の質を向上する必要があります。また、各地区の放課後児童クラブのニーズに基づいた整備が必要になります。
民間保育所などの定員拡大を伴う施設整備や小規模修繕を支援するとともに、保育士確保や入所児童の保育環境の改善を図るため、施設運営費などの助成を行います。また、放課後児童クラブの利用児童数の増加に対応するため、既存クラブの分割などを推進します。
- ・ 地域のつながりが希薄となる中で、孤立感や不安感を抱える妊婦・子育て世帯も多く、妊娠・出産・子育ての不安を解消するための切れ目のない支援が必要となります。
共働き・共育て等を支援するため、母親父親教室（あかちゃん誕生準備編）の拡充、産後パパ育児取得応援交付金を支給します。また、新たに設置したこども家庭センターの運営により、妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みの相談対応や、関係機関との連携により必要な支援につなげる相談体制を充実するとともに、育児に関する適正な情報提供、健診や各種教室、産後ケア事業等を実施します。
- ・ 産科・小児科の二次救急は、採算性の確保が困難な部門であり、安定した病院経営を継続する必

要があります。

安定した病院経営のため、医師の確保に努めるとともに、市民病院の役割や機能を明確化・最適化し、休日・夜間診療所や地域の医療機関との連携を強化します。

関連する【取組】と（事業）

- 【一時的・臨時的な育児支援活動を行うファミリーサポートセンターの運営】（ファミリーサポート事業）
- 【保育所等の運営・施設整備への助成】（民間保育所施設整備支援事業）（民間保育所助成事業）
- 【民間保育所における保育士確保のための取組支援】（民間保育所保育士確保支援事業）
- 【幼児教育・保育の一体的な提供】（吉沢地区地域交流・子育て支援拠点づくり推進事業）
- 【利用ニーズ（実質利用児童数）に応じた放課後児童クラブの設置】（放課後児童健全育成事業）
- 【子どもの通院、入院時の医療費の助成】（小児医療費助成事業）
- 【小児救急医療の体制維持・継続実施】（産科・小児科二次救急実施事業）
- 【特別保育の拡充】（特別保育拡充事業）